

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

令和6年10月17日 発行

1. 発生動向

上段は発生患者数、下段は定点当たり

疾病	疫学週				判断基準(定点当たり)		
	38週	39週	40週	41週	警報レベル		注意レベル
	9月16日～9月22日	9月23日～9月29日	9月30日～10月6日	10月7日～10月13日	開始基準値	収束基準値	基準値
インフルエンザ#	0	0	0	0	30	10	10
新型コロナウイルス感染症#	34 11.33	24 8.00	25 8.33	25 8.33	-	-	-
RSウイルス感染症	3 1.50	0	2 1.00	0	-	-	-
咽頭結膜熱	0	1 0.50	0	0	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	0	0	0	8	4	-
感染性胃腸炎	2 1.00	3 1.50	4 2.00	4 2.00	20	12	-
水痘	0	0	2 1.00	0	2	1	1
手足口病	8 4.00	12 6.00	19 9.50	17 8.50	5	2	-
伝染性紅斑	0	0	0	0	2	1	-
突発性発しん	0	0	0	0	-	-	-
ヘルパンギーナ	0	0	0	1 0.50	6	2	-
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	6	2	3
急性出血性結膜炎	定点設定なし				1	0.1	-
流行性角結膜炎	定点設定なし				8	4	-
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	定点設定なし				-	-	-
無菌性髄膜炎	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎	定点設定なし				-	-	-
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	定点設定なし				-	-	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	定点設定なし				-	-	-
マイコプラズマ肺炎(小児科)	0	0	0	0	-	-	-
川崎病	0	0	0	0	-	-	-
不明発疹症	0	0	0	0	-	-	-

栗原支所管内定点数: #は3施設。それ以外は2施設

2. 施設対応状況 (過去2週間における支所対応状況) ◎:複数対応中、○:対応施設あり、-:対応無し

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	◎		
備考	手足口病		

*「1.発生動向」の解釈について

- ・上段は圏域全体で一週間に診断した患者数
- ・下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数
- ・下段の定点当たりの数値を表右側の判断基準と照らし合わせて評価してください。

3. 栗原支所より

【 定点把握対象疾患 】

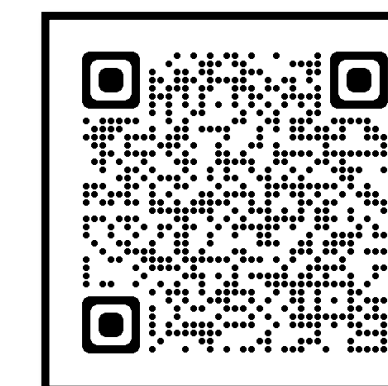
- ・ 新型コロナウイルス感染症は横ばいです。
- ・ 手足口病は警報レベル継続中です。

【 集団発生情報 】

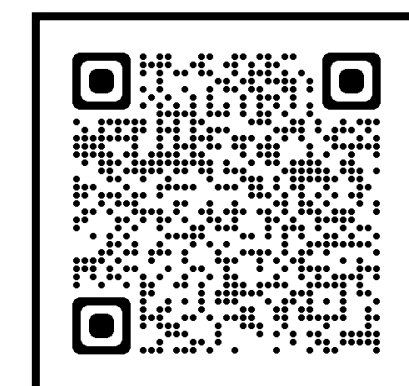
保育所2か所から手足口病の集団発生がありました。感染対策に努めましょう。

【 感染症コラム～潜在性結核感染症～ 】

- ・ 結核菌に「感染」するには、長期間にわたり大量な菌を吸い込む必要があります。
- ・ たとえ結核菌に「感染」したとしても、免疫力が正常な場合は菌の増殖を封じ込めることができます。この状態を「潜在性結核感染症」と呼びます。
- ・ 潜在性結核感染症は、症状がなく、菌を排出(排菌)していないことが前提となるため、周囲に結核を広めること(感染性)はありません。
- ・ 結核を発症した人に接した方々を調査(接触者調査)した際に発見されることがほとんどです。また、自己免疫疾患などの治療に臨む前の検査で見つかることがあります。
- ・ 一般的にはIGRAとよばれる血液検査で診断しますが、こどもではツベルクリン反応(皮内注射)が使われることもあります。
- ・ 一部の方では発病してしまうため、定期的な胸部レントゲン撮影や、基礎疾患等で結核を「発病する」危険性を有する方には治療をすることがあります。
- ・ 潜在性結核感染症も届出が必須ですので、診断した際には、ただちに保健所まで発生届を御提出願います。



感染症情報 ←



性感染症検査 ←

大崎保健所 栗原支所 疾病対策班
☎0228-22-2117 ☎0228-22-7594
HP:https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khhwfz/ktindex.html